

依知南小学校だより 9月号

みなみ

発行所 厚木市立依知南小学校
発行者 中川 洋太
発行月 令和元年9月
児童数 9月1日現在 516名

夏休みの「みんな」の宿題

校長 中川 洋太

長い夏休みが終わりました。充実した夏休みが過ごせたでしょうか。

ある雑誌に「宿題」についての事が記述されていたのが目に留まりました。「宿題」という言葉が初めて登場したのは江戸時代だそうです。詩会（特に漢詩を作り鑑賞する会）の「お題」をあらかじめ示しておくこと、つまり「予習」のことを「宿題」と呼んだのが始まりだそうです。学校での「宿題」は明治に入ってから急速に広がってきたそうです。『学制』が發布され、そこで導入された「夏休み」という制度との関わりが大きいというのが通説のようです。4月に新学年での学習がはじまり、慣れてきたところで長期の休みに入るため、学習が中断して理解した内容が途切れてしまわないように、その対策として「宿題」を出し、学力の維持に努めようとしたのが、日本の学校の「宿題」の始まりだとされているようです。

子どもたちの「宿題」のことは先生方に任せるとして、私も7月の終業式で宣言をした「宿題」がありました。それは、「東京オリ・パラの聖火ランナー」になるための論文を書くという事です。書いたからといってランナーになれるわけではなく、選考されてはじめてランナーになれるのです。自分自身をアピールする論文にしなくてははいけません。また、それ以上に大変なのが、「他人に推薦書」を書いてもらわなければいけません。それでもなんとか完成し、事務局に送付することができました。後は、12月に行われる選考待ちとなります。ランナーに選ばれたあかつきには、みなさん応援に来てくださいね。

話は変わりますが、夏休みにある保護者の方と「運動会の表現種目」について話をする機会がありました。「今年は昨年のような目立った曲がないから、どんな曲を使うのか先生も困るでしょうね。」との話を伺った時に、「はっ」とし、そして、「そうか、確かにそういう事もあるな。自分とは全く逆の発想だな。」と思いました。私の担任時代はやはりこの「表現種目」にこだわりがあり、それを考えるのを毎年夏休みの「宿題」としていました。何が逆なのかというと、私の場合は、「こういう踊りをさせたい」というイメージが先にあり、それに合せた音楽を探すために、映画を見に行ったりCDを聞きあさったりしていました。結果、映画のインディー・ジョーンズやサザンオールスターズの曲を選んだりしてきました。曲ありきか演技ありきか、迫り方が違ってきます。同じなのは「夏休みの宿題」ということです。先生方も夏休みは頭をひねっていることと思います。どんな「表現種目」になるのかは、運動会を楽しみにしててください。





7/25 (木) ボランティア研修講座・臨時学校運営協議会が開かれました

栃木県鹿沼市より渡邊真知子氏をお招きして、『**学校支援ボランティアの有用性**』をテーマに講演をしていただきました。20年間、学校教育に様々な角度からボランティアとして関わり続けている経



験から、体験談や課題などを踏まえて学校支援の有用性についてお話いただきました。続くグループ会議では、①学校が抱えている問題②教員がやってもらいたいと考えるボランティア活動③地域と



してできそうなボランティア活動の3点を軸として、積極的な話し合いが行われました。

《臨時学校運営協議会報告》

◆**知グループ**では、まず6月に行われた家庭学習強化週間で使用した『**宿題チャレンジカード**』をみんなで見合い、意見交換をしました。『**宿題チャレンジカード**』などの取り組みは、2年目となり、「だいぶ軌道にのってきたのではないか」、「保護者の皆さんも意識して声をかけてくれていたようだ」という意見がでました。これからの課題として、「家庭への啓発（家庭学習の有効性や大切さをお知らせしていく）」や、「子どもたち自身が自分から学習できるようにするための力をつける必要性」などが上がりました。今後、学校組織内の「知グループ」で検討・協議を重ね、10月の学校運営協議会でさらに意見を集約した上、今後の家庭学習強化週間（2学期：10月21日～10月27日、3学期1月27日～2月1日）につなげていきます。

◆**徳グループ**では、昨年度生まれたアイデアをもとに取り組んでいる食育について、進捗状況を確認しました。地域の方々の協力を得て、「子どもでも簡単にできる料理」のレシピを紹介していく予定です。2学期の給食献立表に載せるので、ぜひご覧ください。他にも、花壇ボランティア、夏休みの作品募集に係るお手伝い、集金徴収時の確認ボランティアなど、たくさんの案が出ました。どの案も、実現すれば、教員が子どもたちと向き合う時間が増えます。また、地域の方々の温かいまなざしに触れることで、安心して学校に通えることにもつながると思います。グループ目標『**豊かな心の育成と個を大切にした教育**』に向かって、これからも地域との協働を進めていきます。



◆**体・安・開グループ**では、『**健やかな身体を育てる**』という視点から地域の方々と課題と取り組みについて話し合いました。子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくためには、何よりも「食」が重要であることを改めて確認しました。それを踏まえた課題として、朝食を食べずに登校してくる子の実態や、朝から元気のない子、意欲が出ない子に対してどのような働きかけができるかを具体的な取り組みと共に話し合いました。一例としては、朝の時間を利用して体を目覚めさせるための活動を取り入れてみてはどうかとの提案が出ました。（例としては、遊びや体力づくりなど

計画的に行う）また、今後の活動としては、昨年に引き続きマラソン大会に向けて走り方の指導、及び安全確保の協力を地域の方々のお力をお借りしながら行っていくことを確認しました。